

地球温暖化防止 問 生活環境課 ☎43-8234 FAX44-7833

最新EV・PHV試乗体験など 「日本EVフェスティバル」で開催



最新EVが試乗された試乗会

11月3日、筑波サーキットにおいて日本EVクラブ主催の「日本EVフェスティバル」が開催され、全国から約千人が参加し、EV(電気自動車)による1時間耐久レースなどのイベントを楽しんでいました。

会場内では、環境省の「COOL CHOICE」(地球温暖化対策のための運動)の一環として、市主催の「EV・PHV・FCV試乗会」や、「COOL CHOICEパネル巡回展示」も開催され、試乗会では、国内外の自動車メーカーから提供された最新EVやPHV(プラグインハイブリッド車)などに約200人が参加し、サーキットコースを試乗しました。

市内から夫婦で試乗会に参加した40代男性からは「思った以上に静かだった。アクセルを外すとブレーキがかかり乗りやすかった」と話が聞けました。

皆さんも、「COOL CHOICE」に賛同して、地球温暖化対策のために「賢い選択」をしてみませんか。

庁舎建設 問 財政課 ☎43-2235 FAX43-4214

下妻市庁舎建設検討市民会議 市長報告会実施

10月20日、「下妻市庁舎建設検討市民会議」のメンバーは、庁舎等建設に係る基本構想について、市民目線でまとめた報告書を稲葉市長に提出しました。

同市民会議は、先進事例視察やワークショップでの検討を含め7月から5回にわたり会議を実施。公共施設の複合化・集約化や延床面積の削減、耐震性の確保などを目的の1つとし、庁舎の建て替えを機会にユニバーサルデザインへの対応や職員の働き方改革の実施、新庁舎が拠点となり付近ににぎわいを創出することなどを提案しました。

藤川会長は「市民の意見を取り入れることはもちろんだが、働き方改革とセットで考えることも重要である。」と話しました。

今後、市では市民会議での意見やアイデアを活かし、市民のニーズを取り入れた将来の市民のためのより具体的な庁舎づくりへの検討を進めていきます。



稲葉市長に報告書を提出する委員の皆さん

市総合計画 問 企画課 ☎43-2113 FAX43-1960

第6次下妻市総合計画の基本構想について答申が出されました

市の最上位計画である総合計画のうち、平成30年度から平成39年度の10年間を計画期間とする第6次下妻市総合計画の基本構想について、下妻市総合計画審議会



稲葉市長(左)に答申書を手渡す、下妻市総合計画審議会・小林会長(右)

会(小林重隆会長)から10月24日、答申書が稲葉市長に提出されました。

この答申は、平成28年12月から設置された同審議会において、稲葉市長からの諮問に対応して計4回にわたり慎重な審議を重ねてきた結果であり、答申書では市の基本構想(案)を承認するとともに、運用面での要望などが添えられています。

市では、この答申を受け、文言などを調整した上で成案を作成し、12月議会に議案として提出。決定のための審議を受けることとなります。

今後は、基本構想を踏まえながら、まちづくりの目標別に現状と課題、施策・事業の方向性を示した前期基本計画(平成30~34年度)について、同審議会で引き続き調査および審議が行われ、平成30年1月頃に答申される予定です。

受賞者紹介

横瀬さんは、下妻市職員としての行政経験を活かし、平成19年4月1日から現在まで行政相談員を務めていいます。地域の身近な相談相手となり、行政機関とのパイプ役を担ってきた11年間の功績が称えられ、今回の受賞となりました。



総務大臣表彰
行政相談員
横瀬 靖彦さん
(横根)

平成29年 茨城県表彰式

功績者・功績団体紹介

県勢の発展に功績があつた方などを表彰する「平成29年度茨城県表彰式」が、11月13日県庁で行われました。市内において受賞された皆さんをご紹介します。

功績者表彰

しば まさよし
柴 正義さん

広告美術工



多年にわたり、広告美術工として技術研鑽を重ねるとともに、卓越した技能者として後継者の育成と技能の向上に貢献したことが認められ受賞となりました。

功績団体表彰

下妻市果樹
組合連合会

あわの よういち
栗野 陽一会長



多年にわたり、茨城県梨の品質や生産力の向上に尽力するとともに、梨狩りツアーの企画や東南アジアへの輸出など地域貢献および産業の振興に寄与したことが認められ受賞となりました。

功績者表彰

いわかみ てるよ
岩上 照代さん

元茨城県青少年相談員
連絡協議会会長



多年にわたり、街頭における青少年への声かけ・相談活動に取り組み、青少年の健全育成と非行防止に貢献したことが認められ受賞となりました。